

第42号議案

「第35回総会記念川崎病講演会と相談会」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

平成28年5月10日

提出者 文京区教育委員会  
教育長 南 新平

文京区教育委員会 ~~共催~~ 後援 名義使用申請書

平成28年4月15日

文京区教育委員会 殿



申請者 (申請団体) 川崎病の子供をもつ親の会

住所 (所在地) 〒248-0035 神奈川県鎌倉市西鎌倉3-11-14 浅井方  
代表者名 浅井 満

代表者連絡先 (事務担当者) 〒248-0035 神奈川県鎌倉市西鎌倉3-11-14  
TEL 0467-55-5257/FAX 0467-55-5258  
メール: asaipak@cc.mbn.or.jp

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	第35回総会記念川崎病講演会と相談会		
実施期間	平成28年 9月 18日 (日) から 平成28年 9月 18日 (日) まで ( 1日間)		
実施場所	林野会館 (文京区大塚3-28-7)		
事業内容	目的※	原因不明のまま増え続けている川崎病は現在、どこの幼・小・中の園・学校にも既往川崎病児がいるのが現状である。川崎病は心臓障害を残す可能性があり、罹患した本人および関係者にとって病気への理解が大きな課題となっており、正しい理解のもと、子どもたちがのびのび育ってほしいという思いで企画した講演会と相談会	
	内容	中村好一先生 (自治医科大学公衆衛生学) <詳細別紙開催要綱> 鮎沢衛先生 (日本大学板橋病院小児科) の講演会と相談会	
	対象者	文京区を中心とする既往川崎病児をもつ親・祖父母及び本人と学校関係者 (参加予定人員100人)	
	参加費	無料 (どなたでも参加できます) ・子連れ可	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	東京都・東京都教育委員会・東京都医師会 文京区・文京区医師会		
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <input checked="" type="checkbox"/> 同意する ・ <input type="checkbox"/> 同意しない			

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

## 第 35 回総会記念川崎病講演会・相談会開催要綱

子どもの心臓などを侵す川崎病は、昭和 42 年川崎富作博士（当時東京・日赤中央病院小児科）により発見・発表された後天的な病気です。日本においてこの 10 年間毎年 10,000 人以上が罹り、平成 26 年の罹患率は史上最高になってしまいました。この病気は心臓の冠動脈などを侵しますが、原因も不明のため、根本治療はなく、毎年心臓後遺症を抱えて治療を続けたり、学校などでの運動制限が必要であったりする者や、中には死亡する者が絶えず、非常に問題の多い病気であります。また、心臓障害を残した子どもの不登校、引きこもりの問題など新たな問題も浮上しております。さらに最近では以前川崎病に罹患し、心臓に後遺症を抱えながらも、思春期に入る段階から成人に達した段階で怠薬や検診からの脱落（ドロップアウト）の問題が急浮上しており、私たちは 30 歳と 40 歳の死亡例も確認しております。

こうした背景の中、昭和 57 年、会員同士の情報交換と相互扶助さらに正しい川崎病への啓発を目的に発足しました私たち「川崎病の子供をもつ親の会」は平成 28 年 9 月 18 日に下記の内容で第 35 回総会記念講演と相談会を実施します。できるだけ多くの区民に呼びかけ実施してまいりと考えております。

### 記

名称：第 35 回総会記念川崎病講演会と相談会

日時：平成 28 年 9 月 18 日（日）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場所：林野会館（文京区大塚 3-28-7）

講師：1・中村好一先生（自治医科大学公衆衛生学）

テーマ：「疫学像から川崎病の原因を考える」

2・鮎沢 衛先生（日本大学板橋病院小児科）

テーマ：「川崎病後の心臓障害と向き合う」

● 講演終了後個々の医療相談を実施

主催者住所・連絡：

川崎病の子供をもつ親の会

代表 浅井 満

〒248-0035 神奈川県鎌倉市西鎌倉 3-11-14

TEL 0467-55-5257 FAX 0467-55-5258

対象と人数：東京都民・文京区民を中心に川崎病の子供をもつ親・祖父母・本人及び川崎病児が通う園・学校の関係者

他川崎病に興味がある方どなたでも 100 人 (予定)

参加費：無料 (予約不要) ・子連れ可

後援：(全て予定) 東京都・東京都教育委員会・東京都医師会  
文京区・文京区教育委員会・文京区医師会

◎ 事務担当 川崎病の子供をもつ親の会

代表 浅井 満

〒248-0035 神奈川県鎌倉市西鎌倉 3-11-14

TEL 0467-55-5257 ・ FAX 0467-55-5258

事業予算書

事業名：第35回総会記念川崎病講演会と相談会

団体名：川崎病の子供をもつ親の会

収 入		単位：円	支 出		単位：円
自己負担金			会場費（備品含む）		89,640
川崎病の子供をもつ親の会			ポスター・チラシ制作費		60,000
一般会計総会関係費より	279,640		案内ハガキ印刷・発送		20,000
			郵送費（メール便）		60,000
			講師交通費		30,000
			雑費（録音・写真・宅配便）		20,000
計	279,640		計		279,640
計	279,640		計		279,640

平成28年 4月 15日

(備 考)

# 川崎病の子供をもつ親の会

## 申し合せ事項

### 名称

本会の名称は「川崎病の子供をもつ親の会」とし、事務局をおきます。

なお、本会の呼称を略式表記するときは、「川崎病の会」とします。

英語表記は PARENTS ASSOCIATION FOR KAWASAKI DISEASE (PAK) とします。

### 目的

本会は子供たちの心身の健全な成長を願い、川崎病児（者）の苦しみと、その家族の不安をなくすため、会員同士がお互いに連絡し、励まし、助け合うことを目的とします。

また、川崎病の一日も早い原因究明、その根本的な予防法と後遺症の有効な治療法の確立、そして、川崎病の根絶をめざし、医師、研究者に積極的に働きかけ、相互に協力し合います。

同時に関係行政機関にも働きかけます。

### 会員

本会は、次のような人々の参加をもって構成します。

#### <正会員>

全国の川崎病の子供をもつ親、家族、それに準ずる人および川崎病に罹患した本人。

#### <賛助会員>

本会の主旨に賛同し、物心両面から支援していただける個人。

なお、以上の方が本会に入会する際には入会金（500 円）を納めます。

### 会の運営

本会を運営するために、当面、総会、世話人会、事務局をおきます。

#### ・総会

世話人会が招集し、年1回を原則として開きます。総会では以下の事項を協議・決定します。

過去1年間の活動の総括と新たな方針、予算、決算、役員選出、会則改正、その他重要事項

#### ・世話人会

代表・世話人・事務局長・会計によって構成され、総会の招集、総会で承認された運営方針の執行を責任もって行います。

## 役員

本会に次の役員をおきます。

代表、世話人、事務局長、会計、会計監査

## 他団体との交流・協力

本会と同じような目的をもった団体とは積極的に交流し、協力し合います。

## 会費

会員は年会費を会計に納入します。年会費は4,500円とします。

本会の会計は会費と寄金その他によってまかさないます。

会計年度は9月1日より8月31日までとします。

この申し合せ事項は、1997年9月14日より実施します。

\*1982年9月23日 初版

\*1988年9月18日 一部改訂

\*1997年9月14日 一部改訂

上記申し合せ事項は「川崎病の子供をもつ親の会」の正式な申し合せ事項であることを証明します。

平成28年4月15日

〒248-0035

神奈川県鎌倉市西鎌倉3丁目4番11号

川崎病の子供をもつ親の会

代表 浅井 満

《川崎病の子供をもつ親の会2015年度（平成27）役員名簿》

(2015年9月～2016年8月)

役職名	氏名
代表	浅井 満
事務局長	小笠原 恵子
会計	山形 勝子
会計監査	崎間 洋美
	須山 より子
世話人	真次 富美子
	佐藤 克巳
	石井 宏枝
	細田 有二
	中山 和人
	古川 達人
	西 正 典
	遠藤 洋子
	竹田 哲康
	光 富 健一
	橋爪 功明
	松本 芳博
	佐久 真正晃
	黒 官 正一
	向川 洋次
	都 築 敬子



年 月	項 目	講 師 名 ( 所 属 )	地 域
2014 (H26)	9 第33回総会と記念講演会と相談会 後援：東京都・東京都教育委員会・東京都医師会 豊島区・豊島区教育委員会・豊島区医師会	落 雅美先生(日本医科大学名誉教授)	東京
	10 浅井代表北里大学病院小児科石井正浩教授に招かれ医学部学生に向け講義		東京
	// 東京23区連絡会おしゃべり会		
	// 神奈川県連絡会講演会と相談会	麻生健太郎先生(聖マリアンナ医科大学) 後藤建次郎先生(聖マリアンナ医科大学)	神奈川
	// 北海道連絡会講演会と相談会 後援：札幌市医師会・札幌市教育委員会	堀田智仙先生(札幌医科大学病院)	北海道
	// 会報“やまびこ通信”193号発行		
	11 第34回日本川崎病学会市民公開講座 後援：東京都・東京都教育委員会・東京都医師会 千代田区・千代田区教育委員会・千代田区医師会・神田医師会 協力：第34回日本川崎病学会(会頭 寺井勝) NPO法人日本川崎病研究センター(理事長 川崎富作)	丹羽公一郎先生(聖路加国際病院)	東京
	// 埼玉県連絡会交流会		埼玉
	// 静岡県連絡会懇談会		静岡
	// 山口県連絡会親睦交流会		山口
	// 東京多摩地域連絡会料理を作って食べて懇談会		東京
	// 千葉県連絡会講演会主催講演会と相談会	濱田洋通先生(東京女子医大八千代C)	千葉
	12 和歌山医科大学医学部生と親の会コミュニケーション 会報“やまびこ通信”194号発行		和歌山
	// 東京23区連絡会おしゃべり会		東京
2015 (H27)	// 東京多摩地域連絡会懇談会		東京
	// 神奈川県連絡会懇談会		神奈川
	2 第11回国際川崎病シンポジウムに7人のツアーを組み参加 アメリカ・カナダ・オーストラリアの団体と親の会シンポジウム実施		ハワイ
	// 会報“やまびこ通信”195号発行		
	3 東京多摩地域・千葉県連絡会一泊交流会		千葉
	4 会報“やまびこ通信”196号発行		
	5 神奈川県連絡会講演会と相談会	緒方昌平先生(北里大学病院)	神奈川
	// 北海道連絡会情報交換会in釧路		北海道
	// 神奈川県・東京多摩地域連絡会合同交流会		神奈川
	// 静岡県連絡会懇談会		静岡
	6 NPO日本川崎病研究センター総会と事業報告会に協力		東京
	// 福岡県連絡会相談会		福岡
	// 東京23区・多摩地域連絡会合同講演会と相談会 後援：東京都・東京都教育委員会・東京都医師会・東京都多摩府中保健所 武蔵野市・武蔵野市教育委員会・武蔵野市医師会	深澤隆治先生(日本医科大学病院)	東京
	// 埼玉県連絡会交流会		埼玉
	// 会報“やまびこ通信”197号発行		
	7 兵庫県連絡会講演会と相談会 後援：兵庫県・兵庫県教育委員会・兵庫県医師会 神戸市・神戸市教育委員会・神戸市医師会	坂崎尚徳先生(兵庫県立尼崎総合医療C)	兵庫
	// 神奈川県連絡会相模原市橋本地区懇談会		神奈川
	8 会報“やまびこ通信”198号発行		
	9 第34回総会前日交流会		東京
	// 第34回総会と記念講演会と相談会 後援：東京都・東京都教育委員会・東京都医師会 豊島区・豊島区教育委員会・豊島区医師会	松原知代先生(獨協医科大学越谷病院)	東京
	10 東京23区連絡会おしゃべり会		東京
	// 第35回日本川崎病学会市民公開講座 後援：鹿児島県・鹿児島県教育委員会 鹿児島県医師会・鹿児島市 鹿児島市教育委員会・鹿児島市医師会 協力：第35回日本川崎病学会(会頭 野村裕一) NPO法人日本川崎病研究センター(理事長 川崎富作)	益田君教先生(鹿児島市立病院) 野村裕一先生(鹿児島市立病院) 吉永正夫先生(鹿児島医療センター)	鹿児島

年	月	項 目	講 師 名 ( 所 属 )	地 域
2015	10	浅井代表北里大学病院小児科石井正浩教授に招かれ	医学部学生に向け講義	神奈川
(H27)	〃	北海道連絡会講演会と相談会	信太 知先生(江別市立病院)	北海道
		後援:札幌市医師会・札幌市教育委員会		
	〃	山口県連絡会新会員歓迎会と交流会		山口
	〃	神奈川県連絡会講演会と相談会	曾我恭司先生 (昭和大学横浜市北部病院こどもC)	神奈川
	〃	会報“やまびこ通信”199号発行		
	11	静岡県連絡会懇談会		静岡
	〃	岡山県連絡会講演会と相談会	脇 研自先生(倉敷中央病院)	岡山
		後援:岡山県・岡山県教育委員会・岡山県医師会 岡山市・岡山市教育委員会・岡山市医師会		
	〃	東京多摩地域連絡会料理を作って食べて懇談会		東京
	〃	千葉県連絡会講演会と相談会	鈴木一広先生(松戸市立病院)	千葉
	12	会報“やまびこ通信”200号記念号発行		
2016	1	東京23区連絡会おしゃべり会		東京
(H28)	〃	東京多摩地域連絡会新年会と懇談会		東京
	〃	西日本連絡会合同交流会		福岡
	〃	神奈川県連絡会懇談会		神奈川
	2	会報“やまびこ通信”201号発行		
	3	東京多摩地域連絡会奥多摩でのんびり温泉ツアー		東京
	4	埼玉県連絡会交流会		
	〃	神奈川県連絡会講演会と相談会	伊藤秀一先生(横浜市立大学病院) 鉾崎竜範先生(横浜市立大学病院)	神奈川
	〃	会報“やまびこ通信”202号発行		